

荒みきった「恥の文化」・日本のこころ

「人はどこまで無実か？——悪事が露見するまで」　これは夏彦さんの、古今に通じ、歴史に残る不滅の箴言である。ぶっちゃけた話、バレるまでは大丈夫。バレたら謝ったらええねん。

現在、ニュースで大騒ぎしているのは、東芝の 40 年におよぶ不正会計、三井住友建設ならびに旭化成の違法建築、というか、手抜き工事。産地偽装のうなぎやら食品に限らず、いずれバレるのはわかっているのに、懲りもせずくりかえす。うしろめたさも感じない。まともな仕事もできないのに悪知恵だけ働く。(欲呆けしたものを対象とするならまだしも) 判断力の衰えた高齢者を狙い撃ちする。卑怯きわまりないが、なにかあるたびに新しい詐欺を考える。

東芝の粉飾決算は、バブルに浮かれていた時代のものもあるはずだが、それ以外でも損失に頼りてきた。会社ぐるみの背信である。

エレベーターの手抜き点検。

旭化成の手抜き工事は、ビルが傾いてから露見したものだが、当初は地震の所為だと言い逃れようとしていた。杭を打ったって硬い地盤に届いていなければ早晩バレていたはずである。あたかも秋田県の住宅の手抜き、鏝をうっていても、宙に浮いていたなら何の役にもたたない。このときは、よくまあ、プロがこんなしごとをするなあ、と呆れていたものだが、今や大会社までもが同じことをする。10 年前にバレた姉齒事件のようなものだが、精神異常者のごとき面貌に寒気を感じたものだが、彼にしても、上から金がでない、工期を急ぐなどの理由があった。出すべき金を出し渋り、急がせるものだから手抜きも仕方がない、でなければ自分たちの利益を確保できない。・・・だんだん中枢に話がおよんできて、18m の杭を 14m にしろ、と言ったと言う話になって、それでも杭が役立つかどうかの判断は旭化成の責任だ、などと三井住友建設が言う。バカじゃないか。これほど、下請けに対して非情な話はない。さんざん出すべき金をケチっておいて自分より弱い立場の者に責任転嫁するなど、卑劣極まりない。

少なくとも小生は、旭化成より三井住友の方が責任を負うべきだと思う。・・・いずれ、どこかの会社が同じようなことをしていた、などと出そうな気がする。

ことは、われわれの業界にも及んできて、化血研のインフルエンザワクチンが嫌われ、在庫が払底してしまった。おかげで、当院が予約していた 100 人分のワ

ワクチンが全くゼロになってしまったのである。40年間血液製剤を国の指定した製造法に準じることなく、つくっていたという。血液製剤による HIV 感染が話題になっていた時にも、平気で同じ製剤作成法で作っていたことになる。

しかし、血液製剤とワクチンとは違う。……ワクチンが払底したというなら、在庫はどこにいったのか。なにを基準に優先的に予約していなかった病院や医院にまわしたのか、まったく理解できない。

もっと深刻な話は、シェア 100%という日本脳炎ワクチンや B 型肝炎ワクチンも払底してしまう。これは、危機的な状況である。本当に必要とする人にまわらなくなったのである。

まったくバカなことをするものだ。汚染された血液から HIV や C 型肝炎に感染したのは、大きくいえば、厚生省の責任でもある。

自分が自由にできる財団に、ひとり遅れたミドリ十字の汚染血液も同時に発売させようと（当然寄付金がからんでいる。一説に 1 億ともいうが）した安部英が許可を遅らせたからである。これは厚生省も了解している。

つまりは、安部英の私利私欲のために多くの HIV 感染者をだしたのである。当然裁判になる。このことについて櫻井よし子さんの綿密な調査があるから原告側の勝訴のはずが、どのように思考したらそうなるのか理解に苦しむのだが、裁判は安部側の勝訴になる。当然控訴する。その控訴審で、「安部英には、老人性痴呆のために、善悪の判断ができない」と有耶無耶のうちに裁判ができなくなってしまったのである。善悪の判断ができなかったのは、汚染血液を使用した血液製剤を使用した時のことではないか。裁判官が国を亡ぼす、だろう。

血液学会で、「(高知県の患者が、HIV 感染したことを知った時に、仲間と麻薬のまわし打ちをした事件をうけて) 誰がこの患者に感染していることを教えてしまったのか！」と声涙ともに下る演説をしたが、みんなシラーとしてたもんな。

こうすれば儲かるとわかっている、そういう汚い手は使わない、ということ日本人は綿々と先祖代々伝えてきた。いまや、銀行をはじめ、詐欺師など、惻隱の情まで奪ってしまった。これは、すべて日教組が中心になって実施してきたことであるが、「道徳教育」を捨ててしまったからである。卑怯を戒める機会がなくなったからである。

ところで、泥棒は家までもっていかない。火事でも、土地までもっていかない。銀行は、家も土地もすべて取り上げる。当人が積極的に銀行に頼んだなら、やむを得ない。ところが、銀行の場合は、美味しい話を持ってきて、躊躇するのを強引に話を進めるのである。銀行は、決して「親切」ではない。私利私欲で動いている。ノルマ達成のためには、形振りかまわない。いざとなったら、担当者は今ここにいません。・・・・金にもっとも杜撰なのは、銀行なのである。

仮に家のローンを借りようとしたら、下手にでることはない。堂々と「借りてやっている」の姿勢で動くべし。惻隠の情など、やつらは持ち合わせていないのだから。

2015. 11. 30.